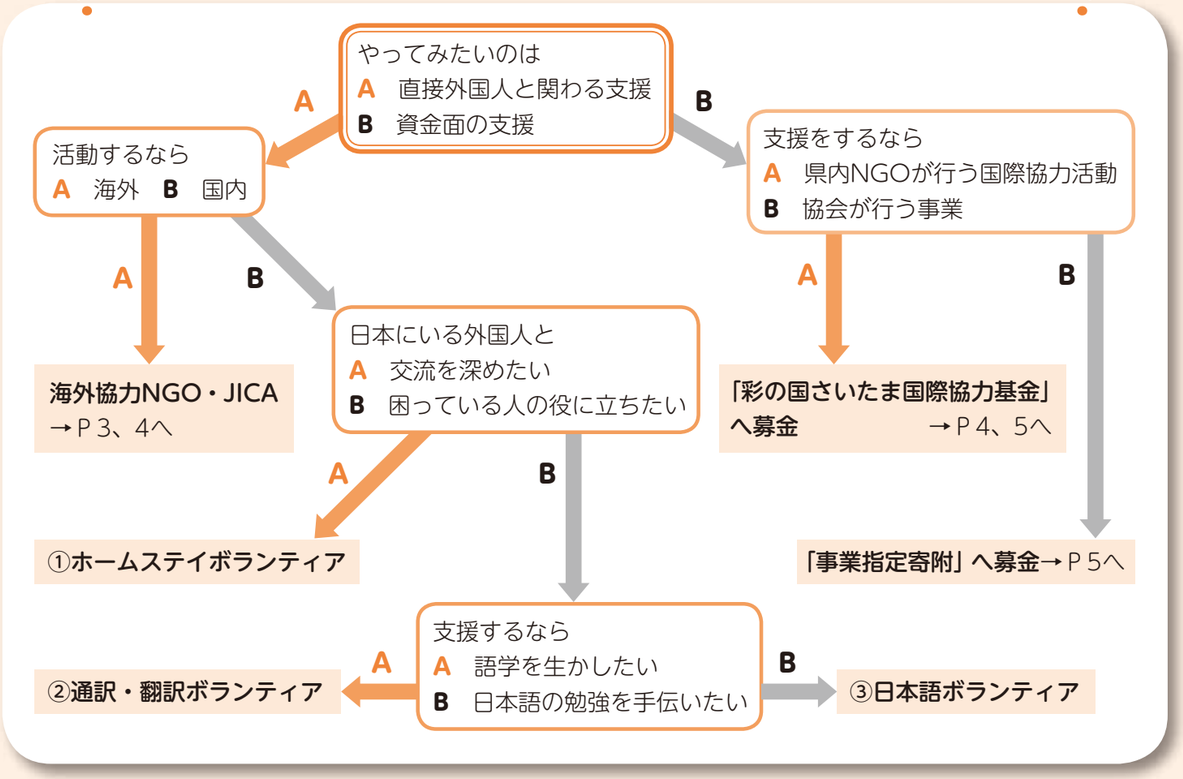
特集 始めよう！身近な 国際ボランティア

まずは自分に合ったボランティアを探してみよう！



①ホームステイボランティア

留学や研修で来日している日本語の話せる外国人（以下、ゲスト）を主に1泊2日で自宅に迎え入れ、日本の文化や生活を体験できるようにご協力いただく活動です。

特別なもてなしは必要ありません。家族のように接していただければOK。日本にいながらにして、世界各国の人々と友好関係を築いてみませんか。

ホストファミリーの声

- 日本語を頑張って勉強する姿にとても感動し、刺激になりました。子供たちが馴染みのない国のことを知る良いきっかけになりました。
- 留学生の国の話を聞いたり、我々の気づかない日本文化を教えてもらったりして、地元に生活しながら国際化を感じることが出来る機会だと思います。

ゲストの声

- ホストファミリーとの交流を通して新しい日本語を覚えたり、日本文化を学ぶことが出来ました。この体験は貴重なもので一生忘れないと思います。
- ホームステイでは実家のような温かさを感じました。ホストマザーと今度一緒に出掛ける約束もしました。

■今後の日程（平成27年度）■

10月24日(土) ～25日(日)
平成28年2月27日(土) ～28日(日)

ホストファミリー募集中！
ご登録はWebから。

SIA埼玉ボランティア　検索

②通訳・翻訳ボランティア

語学力を活かして外国人を支援したいという方にご登録いただき、公的機関で通訳が必要な際に依頼させていただく制度です。現在、24言語674人（平成27年7月末現在）が登録しており、学校での三者面談や、病院、法律相談など、年間200件程度の依頼に応じていただいています。

トラブルを抱えている方の支援をすることが多いため、語学力に加え、困っている人を助けたいという気持ちが重要です。

例えば、外国人女性がＤＶ（配偶者や内縁関係の間で起こる家庭内暴力）を受けていて離婚をしたいのだけれど、在留資格はどうなるのかといった相談では、ＤＶ防止法や在留資格の種類など、専門的な内容の通訳ができるように準備することが求められます。

医療や法律の専門家と協力して行う支援はやりがいも大きいものです。活動は、主に平日の昼間。ご興味のある方は、まずは年に一度開催している「通訳ボランティア入門講座」にご参加ください。（平成27年度は終了）

ボランティアの声

３年間ペルーに住んでいる間にたくさんの方にお世話になったので、帰国したら今度は自分がお手伝いをする側になろう！と心に決めていました。通訳の立場で目のあたりにする様々な現実はいつも楽しいことばかりではありませんが、言語的文化的マイノリティである外国人と日本社会との橋渡し役の一人になれるよう、日々努力しています。
（スペイン語通訳・翻訳ボランティア　亀井玲子さん）

ご登録はWebから。ベトナム語・ネパール語・ヒンディー語の通訳ボランティアを特に募集しています。過去の開催内容もWebで見られます。

SIA埼玉ボランティア　検索

③日本語ボランティア

埼玉県内には、留学生などが学ぶ日本語学校とは別に、ボランティアが教えている日本語教室が約160教室あります。活動内容は、日常生活に必要な日本語を学ぶ教室、日本語検定に合格するための学習をする教室、また、外国出身のママと子供が絵本を読む教室などさまざまです。そのため、日本語教室でボランティアをするためには、日本語を教えるだけではなく、外国人が日本で困っていることを一緒に解決していこうという気持ちが必要です。

教室は、主に市町村や有志のグループが中心となって、公民館などの公共施設で活動しています。まずは近くの日本語教室に見学に行くことから始めてみてはいかがでしょうか。

学習者の声

初めて教室に来た時は全く日本語が分かりませんでしたが、いつも先生が親切に教えてくれ、今では買い物もスムーズにできるようになりました。友達もたくさんできました。また、自分の国と日本との文化の違いに困った時もいつも相談に乗ってくれるので安心します。私はこれからも日本語を一生懸命勉強して将来日本で仕事をしたいです。

埼玉県内の日本語教室一覧はこちら→　埼玉日本語教室　検索

他にもできることはいろいろあります

ボランティアを募集している団体が見つかるかも

今まで気づかなかった新たな発見があるかも

- 国際協力NGOや地域の公民館、ボランティアの集まる施設を訪ねてみよう。
  埼玉県内の国際交流・協力団体はこちら→　SIA彩の国ネットワーク　検索
- 埼玉県内のNGOが集まる国際フェア（→Ｐ５）に行って、あなたの想いに合った団体を探してみよう！